

「ゆれにくい」以外の鎌ヶ谷市の「地の利」の良さ

《緑あふれるまちなみ》

都心から25km圏内にもかかわらず、市域の約半分(49.2%)が市街化調整区域。

地目別面積でも、約3割が田・畑・山林などで、緑と調和した落ち着いたまちなみを形成しています。



《電車でのお出かけに便利》

市の中心に位置する新鎌ヶ谷駅は、成田スカイアクセス線も加わり、私鉄4線が交差する県北西部の広域交流駅。

①乗り換えなし②約30分圏内で、様々な場所へのお出かけが便利です。

○成田スカイアクセス線（北総線を含む）を使って

成田空港まで約30分 押上（東京スカイツリー前）駅まで約20分

○東武野田線を使って

船橋駅まで約13分 柏駅まで約16分

○新京成電鉄を使って

松戸駅まで約20分 新津田沼駅まで約20分

《標高が高い》

千葉県で実施している水準測量で、鎌ヶ谷市の標高は、約13~28mとなっており、隣接する市と比較しても高い場所に位置しています。

今から約1万~5,500年前に東京湾深く海水が入り込んだ「縄文海進」でも水没しなかったとの記録があり、地震等の要因で海面上昇が起こっても、水没しにくい特性を持っています。



《土地もお求めやすい価格》

都心や成田空港などにもアクセスしやすい場所にありながら、市の平均地価は1㎡あたり約9万3千円（平成24年度地価公示）で、近隣市と比較してもお求めやすい地価になっています。